

用語解説

アルファベット / 数字

BOD

生物化学的酸素要求量 (Biochemical Oxygen Demand) の略で、河川の水質汚濁の指標として用いられます。水を汚している有機物を微生物 (好気性バクテリア) が酸化分解するときに必要とする酸素量で、有機物の量を表した値です。また、微生物の代わりに化学物質の酸化剤を用いて測定するCOD (Chemical Oxygen Demand) も、水質汚濁の指標として使用されることがあります。

L A S - E

環境自治体スタンダード (Local Authority's Standard in Environment) の略。自治体向けの環境マネジメントシステムの規格で、目標の設定や監査に市民が参加することが特徴となっています。

NGO / NPO

非政府組織 (NonGovernmental Organization) / 非営利組織 (NonProfit Organization) の略です。NGOは、政府間の協定によらずに創立された、民間の国際協力機構のことです。NPOは、政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のことです。

75%^{すいしつち}水質値

n個の日間平均値を数値の小さいものから並べたとき $0.75 \times n$ 番目にくる数値で、BODの環境基準の達成状況は75%水質値で見ます。

ア 行

アイドリングストップ

自動車やオートバイが無用なアイドリングを行わないことを意味する和製英語で、停車時エンジン停止とも呼ばれます。エンジン停止による燃料節約と排ガス削減、二酸化炭素 (CO₂) 削減の効果があります。

^{あつしゆくてんねん}圧縮天然ガス (CNG)

Compressed Natural Gas の略で、化石燃料の中で二酸化炭素の排出量が最も少なく、また大気汚染物質も少ないクリーンなエネルギーです。

^{せいで}アドプト制度

地元企業や住民等が、地元の道路や川のような公共施設を自分たちで定期的に清掃活動を行うアメリカ生まれのボランティア制度で、市では、町会・自治会や市民グループなどが道路や公園などの公共施設の清掃、除草などを行う制度として制定しています。

^{えきかてんねん}液化天然ガス (LPG)

Liquefied Petroleum Gas の略で、ブタン・プロパンなどを主成分とし、圧縮することにより常温で容易に液化できる気体燃料のことです。一般には**プロパンガス**ともよばれています。

^{うすいしんとうしせつ}雨水浸透施設

雨水を地下に浸透させたり河川へ排水したりする前に一時的に貯留できる施設のことです。雨水浸透ますや地下調整池などの施設も含まれます。

エコアクション21 (E A 2 1)

環境省が創設した環境マネジメントシステムの規格のひとつで、ISO14001の規格を基本としています。中小事業者でも取り入れやすいよう、システムの構築が容易なものとなっています。

エコショップ

簡易包装の実施、マイバッグ持参運動の推進、エコ商品の販売など、『ごみになる物は買わない、家庭に持ち込まない』行動を率先して手助けしてくれる環境にやさしいお店として市が認定した店舗です。

エコドライブ

省エネルギー、二酸化炭素や大気汚染物質の排出削減のための運転技術をさす概念。

主な内容は、アイドリングストップを励行し、経済速度の遵守、急発進や急加速、急ブレーキを控えること、適正なタイヤ空気圧の点検などがあげられます。

エコひろば

正式名称「環境学習室」。市民・事業者が環境について関心を持つきっかけづくりと、環境保全活動団体などが、地域に根ざした活動を展開するための活動拠点として、平成17年1月に北野余熱利用センター「あったかホール」内に開設しました。

エコミュージアム

地域全体をひとつの博物館と考え、その中の自然や文化遺産などをそのまま保存・展示し、それらを地域の自然や文化にふれたり学んだりすることができる体験施設や地域活性化の場として活用しようという概念のことです。

^{おんしつこうか}温室効果ガス

太陽光線によって暖められた地表面から放射される赤外線を吸収して大気を暖め、一部の熱を再放射して地表面の温度を高める効果を持つガスで、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスなどがあります。

がいらいしゅ いにゅうしゅ 外来種（移入種）

人為により自然分布域の外から持ち込まれた種のことをいいます。自然に分布するものと同種であっても他の地域個体群から持ち込まれた場合も含まれます。

国内では一部で移入種の駆除が進められているほか、移入種対策のための「外来生物法」が制定され、生態系などに悪影響を及ぼしていることが明らかな移入種（外来種）として32種が「特定外来生物」として第一次指定されています。

かんきょうがくしゅう 環境学習リーダー

地域の環境市民会議の活動を適切に支援することができる人材として、市が開催する環境学習リーダー講座において養成した人のことです。

かんきょうかけいぼ 環境家計簿

家庭における電気やガスなどの使用量より、二酸化炭素（ CO_2 ）の排出量を把握し、家庭からの環境負荷を認識することで、環境に良い行動を促すための取り組みです。

かんきょうきじゅん 環境基準

環境基本法により国が定めているもので、「人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい」とされている基準のことです。大気の汚染、水質の汚濁、土壌の汚染及び騒音の4つについて基準が定められています。

かんきょうしひょう 環境指標「ちえっくどう」

市民・事業者が自ら環境について調べ行動していくために、市が作成したマニュアルです。簡単な方法で身近な環境の現状や家庭・事業所における環境保全行動を診断（環境診断）することができます。

かんきょうしみんかいぎ 環境市民会議

環境問題に対処していくためには、市の環境施策を推進するとともに、市民・事業者の自発的な環境保全活動や取り組みが重要となります。環境市民会議は、市内を6つの地区に分け、それぞれの市民・事業者の皆さんによって自発的に環境保全活動を実践する組織で、平成14年7月に設立されました。

かんきょうしんだんし 環境診断士

環境指標「ちえっくどう」を用いた環境診断を実施する際に適切な指導・助言ができる人材として、市が行う環境診断士講座において養成した人のことです。

かんきょうすいしんかいぎ 環境推進会議

環境市民会議の代表者、公募市民、市の職員により構成され、市の施策と市民・事業者の活動について協議・調整し、環境保全活動を総合的に推進するため、八王子市環境基本条例に基づいて設置された組織です。

かんきょう 環境マネジメントシステム

企業・組織が自主的・継続的に環境への負荷を低減させることを目的とし、環境保全の方針や目標を定め、これを実行し、その結果を点検して方針等を見直すという、一連の管理の仕組みのことをいいます。

ISO14001は、平成8年9月に国際標準化機構（ISO）によって制定された環境マネジメントに関する国際規格のことで、環境マネジメントシステムの構築と運用を求める国際規格のことです。

きはつせいゆうきかごうぶつ 揮発性有機化合物（VOC）

Volatile Organic Compounds の略で、常温常圧で大気中に容易に揮発する有機化学物質の総称のことです。

具体例としてはトルエンやベンゼンなどを指し、これらは溶剤、燃料として重要な物質であることから幅広く使用されている。しかし、環境へ放出されると公害などの健康被害を引き起こします。特に、ホルムアルデヒドによるシックハウス症候群や化学物質過敏症が社会に広く認知され、問題となっています。

きゅうりょうち 丘陵地

なだらかな起伏、小山あるいは丘の続く地形のことです。山地より標高が低く、起伏が小さくなっています。八王子市では、多摩丘陵をはじめ、八王子丘陵、加住丘陵などがあります。

くうかんち 空地

主として都市内の宅地のうち、当該土地の所有者等が現に利用していない土地、長期間更地のまま放置されている土地のことをいいます。

しゃかいすいしんきょうぎかい ごみゼロ社会推進協議会

市民と事業者がともに一般廃棄物の減量及び再利用の促進並びに適正な処理等に関する市の施策を具体化し、推進するため平成18年12月に本協議会を設置しました。本協議会は町会・自治会をはじめ、廃棄物減量・再利用推進員、高齢者団体、学生、事業者、集団回収団体、消費者団体、再生資源取扱業者及び宅地建物取引業者の各代表、合計15人から構成されています。

さとやま 里山

人里の近くにあり、従来、林産物栽培や有機肥料、薪や炭の生産等のために利用されていた人と関わりの深い森林のことです。近年、住民に身近な自然として評価されてきています。

じゅりんちりつ 樹林地率

都市計画法に基づく都市計画基礎調査（土地利用現況調査）において、土地利用上、樹林地として区分されている区域の割合のことです。

すいしつおだくぼうしほう 水質汚濁防止法

国民の健康を保護し生活環境を保全することを目的に、工場及び事業場からの公共用水域への排出及び地下水への浸透を規制し、さらに生活排水対策の実施を推進することで水質汚濁防止を図るため、1970年に制定されました。

せいぶつたようせい 生物多様性

あらゆる生物種の多さと、それらによって成り立っている生態系の豊かさやバランスが保たれている状態のことで、さらに、生物が過去から未来へと伝える遺伝子の多様さまでを含めた幅広い概念です。

せぎ 瀬切れ

河川で流れが途切れたり、水量が極端に少なく河床が露出したりすることをいいます。

タ行

ダイオキシ^{るい}ン類

ごみの焼却などにより非意図的に生成する副生成物です。有機塩素化合物の一種で、塩素原子の数と位置により多数の異性体があります。このうち2,3,7,8-テトラクロロジベンゾパラジオキシンの毒性が最も強く、生殖機能への影響、発ガン性や奇形を引き起こすおそれがあることなどが指摘されています。

ちかすい^{よう} 地下水かん養

雨水などを地下へしみ込ませ地下水の量を豊かにすることです。森林の保全や雨水を浸透させる工夫（透水性舗装、透水管、浸透枳など）を行うことにより地下水を豊かにすることができます。

ちすい 治水

洪水・高潮などの水害や、地すべり・土石流・急傾斜地崩壊などの土砂災害などから人々の生命と財産を守るために行う事業のことです。具体的には、ダムや放水路、調節池、築堤・護岸の整備や雨水浸透の促進、ハザードマップの作成などがあります。

ちきゅうおんだんか 地球温暖化

人間の活動により二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス（太陽からの熱を地球に封じ込め、地表を暖める働きがあるガス）の濃度が増加し、地表面の温度が上昇することです。

ちっそさんかぶつ 窒素酸化物（NO_x）

Nitrogen Oxide の略で、窒素の酸化物の総称。一酸化窒素、二酸化窒素、亜酸化窒素、三酸化二窒素、四酸化二窒素、五酸化二窒素など。化学式の NO_x から「ノックス」ともいう。

ていこうがいしゃ 低公害車

従来の自動車に比べ大気汚染物質の排出量等が低いなど、環境への負荷が少ない自動車の総称です。主に、ガソリンや軽油に代わる燃料をエネルギーとする自動車のことで、電気自動車、メタノール車、天然ガス車、ハイブリッド車等があります。また、平成12年度の排出ガス規制値を75%低減している超低排出ガス車等も含まれます。

ナ行

のやき 野焼き

廃棄物等を野外で焼却することをいいます。
本来は、牛馬や採草地を維持するために、毎年春の彼岸前後に野草地に火を入れて焼く作業をいいます。

ハ行

ハイブリッド^{しゃ}車

エンジンとモータの2つの動力源を持ち、それぞれの利点を組み合わせて駆動することにより、省エネと低公害を実現する自動車です。

はちおうじしかんきよう 八王子市環境マネジメントシステム

本市では、自治体として環境負荷をより一層削減するために導入した環境マネジメントシステムのひとつで、自治体がめざすべき姿を定めた規格『環境自治体スタンダード（LAS-E ラス・イー）』を人口50万人以上の都市では全国で初めて採用しました。

はちおうじ^{しょうこく} 省エネ国

各家庭で地球温暖化防止のためにエネルギーを効率よく使う生活を実践するため、チェックシートに毎月の家庭の電気・ガスなどのエネルギー使用量を記入しながら、省エネ活動に取り組んでもらう事業です。

はちおうじ^{でまえこうざ} 出前講座

市民の生涯学習活動を支援することを目的に、学習会等に市や企業等の職員が講師として伺い、担当する事業などについて講義や説明をすることをいいます。

ばい煙^{えん}

一般的には、燃料の燃焼などによって発生し、排出される「すす」と「煙」という意味合いですが、大気汚染防止法（１９６８）では、「硫黄酸化物」、「ばいじん」、「有害物質」と定義しており、ばい煙は、同法による規制対象物質で、対策として排出基準（一般排出基準、特別排出基準、都道府県の上乗せ基準）、総量規制基準、燃料使用基準が設けられており、それらを排出する施設が指定され、規制されています。また、「有害物質」については、燃焼のみに限らず広く有害物質を発生する工程を含む施設が規制されています。

パークアンドバスライド

目的地まで自家用車を利用して直接行かず、近くのバス停まで自家用車を利用し、そこからバスに乗り換えて目的地まで行くシステムのことで、都市中心部の自動車交通の集中を防ぐために利用されています。

ふくどくほん 副読本

教科書及び準教科書のほかに、これらの補助として使用する教科用図書のことです。

マ 行

みどりのカーテン

アサガオやヘチマなどツル性の植物で建物の窓や壁を覆うものです。夏季の強い日差しを和らげることなどにより、冷房費の削減等の効果があります。

みどりの保全基金^{ほぜんききん}

条例に基づき、必要な資金を積み立てるとともに、緑地の確保や沿道の緑化、緑地の維持管理等への助成など、みどりの保護と育成を行うための基金です。

ヤ 行

やと 谷戸

丘陵地が侵食されてつくられた谷状の地形です。また、そのような地形を利用した農業とそれに付随する生態系を指すこともあります。谷津、谷地、谷那などとも呼ばれ、主に関東地方及び東北地方の丘陵地で多く見られます。

ゆうがいたいきおせんぶっしつ 有害大気汚染物質

大気汚染防止法により、低濃度長期暴露で発がん性などが懸念される有害な大気汚染物質について、健康被害の未然防止の観点から、モニタリング、公表、指定物質の排出抑制基準などの規定が追加されています。大気中の濃度の低減を急ぐべき物質（指定物質）として、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロエチレン、ダイオキシン類が取り上げられ、工場・事業場からの排出抑制対策が進められています。

ゆうすい 湧水

地下水が崖や谷頭から地表に流れでたものをいいます。湧水はいつでも使える地下水として貴重ですが、都市では地表面の被覆が進み、雨水の浸透不足で地下水がかん養しにくくなり、地下水位が低下し、湧水が減少し枯渇する傾向にあります。

ラ 行

りすい 利水

地表水、地下水を飲用などの生活用水、農業用水、工業用水、発電用水等に利用することをいいます。これらに利用される水は、通常、河川、湖沼に設置した堰、ダム等から取水されます。

りよくひりつ 緑被率

みどりの総量を把握する方法のひとつで、航空写真等によって上空から見たときのみどりに覆われている面積の割合のことです。森林・樹林地のほか、草地や農地、公園や道路、学校などの公共公益施設のみどり、住宅、工場などの民有地のみどり等が含まれます。